

2024年10月24日

報道関係各位

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

AIビジネスの拡大を目指し Liquid AI に出資 省電力の AI で国内市場の拡販体制を強化

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社(代表取締役社長:新宮 達史、本社:東京都港区、略称:CTC)は、AI ビジネスの更なる拡大を目的に、マサチューセッツ工科大学発のスタートアップ Liquid AI, Inc. (Co-founder & CEO:Ramin Hasani、本社:米国マサチューセッツ州)の日本法人 Liquid AI 株式会社(以下:Liquid AI 社)に出資しました。CTC は Liquid AI 社と共同で、日本語に対応した LLM の共同開発や新技術の検証を進め、国内市場に省電力を実現する AI ソリューションを展開していきます。

近年、DX やビジネス変革に向けて生成 AI を活用するため、業務に特化できセキュリティレベルも維持できる独自の言語モデルの導入を検討する企業が増えています。しかし、言語モデルの構築には、多くの計算リソースが必要で、GPU サーバの大規模な導入や電力消費に伴う環境負荷への対応といった課題もあります。

Liquid AI, Inc.は、2023 年米国のスタートアップ企業です。最小限の処理能力で順応性の高い機械学習を可能にする AI モデル「Liquid Neural Network(リキッド・ニューラル・ネットワーク、以下:LNN)」を独自に開発しており、大量データの言語処理を並列で実行する AI モデルと比較して、LNN は文章生成時の計算量とメモリ消費量が少なく、小型のコンピュータやエッジデバイスに実装して動作することが可能です。

CTC は、2024 年 2 月から Liquid AI, Inc.との協業を開始し、AI の性能評価や実用性を確認するための技術検証を実施してきました。今回の出資に伴い CTC と Liquid AI 社は、今後、Liquid AI, Inc.が 10 月 23 日に発表した言語モデル「Edge LFM」の日本語対応を共同で進めていきます。

また CTC は、オンプレミス基盤やクラウドサービスへの実装に加えて、家電製品やロボットなどのエッジデバイスでの AI 活用を図り、AI ビジネスの更なるビジネス拡大につなげていきます。

- ※ 記載されている商品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。
- ※ 掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

以上

<報道機関からのお問い合わせ先>
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
広報部

E-mail:press@ctc-g.co.jp